



## 10月は「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間です!

県民一人ひとりが元気になれば、家庭や職場にも元気が生まれ、地域社会の活力にもつながります。

### ◆大分県と国東市の健康寿命（平成22年度）

※健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を指します。

		平均寿命 (全国・県内順位)	健康寿命 (全国・県内順位)	障害期間
男 性	大分県	80.06歳 (8位)	69.85歳 (39位)	10.21年
	国東市	79.56歳 (11位)	76.75歳 (10位)	2.81年
女 性	大分県	86.91歳 (9位)	73.19歳 (34位)	13.72年
	国東市	85.64歳 (17位)	79.40歳 (17位)	6.25年

みんなで延ばそう  
健康寿命!



大分県は、この10年で全国で唯一、男女ともに平均寿命が2歳以上伸び、長寿県トップ10の仲間入りを果たしました。しかし、健康寿命は男性が全国39位、女性が34位と男女とも全国平均を下回っており、**健康寿命の延伸**が大きな課題となっています。

あなたが、いつまでも  
いきいきと笑顔でいるための  
カギ (1日の目安)

減塩マイナス3g



野菜350g



歩数プラス1500歩



10月10日は「目の愛護デー」です。年に一度は目の健診を受けましょう

## 10月は3R推進月間です

ごみになるものを減らす**リデュース(Reduce)**、使い終わった物を捨てないでもう一度使う**リユース(Reuse)**、資源ごみをもう一度使える資源にして使う**リサイクル(Recycle)**の「**3R**」に取り組みましょう。

ここでは3Rと関連して、市のごみ処理の状況について平成26年度の実績を基にお知らせします。

### ●ごみ量とごみ処理経費

平成26年度に出たごみの量は、9,308tでした。これを市民1人が1日に出したごみの量に換算すると、835グラムになります。この数値は大分県の平均数値(25年度：951グラム)以下に抑えられています。また事業所から出されるごみの割合が35%と高いことも特徴です。(県平均は26%) **【資料①】**

ごみの収集や焼却・埋め立てなどにかかったお金は約3億7,900万円※でした。ごみ処理にはとてもお金がかかります。そこで、有料の指定袋やごみ処理料などにより、その一部を負担していただいています。 **【資料②】**

※職員の人件費や市債の償還費は除きます

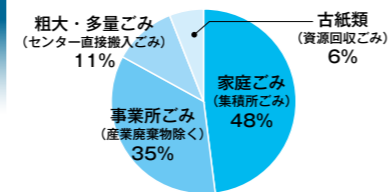
### ●リサイクルの状況

国東市でリサイクルに取り組んでいる品目は次のとおりです **【資料③】**。これらはリサイクル業者に再商品化を委託したり、有価ごみとして売却することで新しい商品に生まれ変わります。平成26年度は1,662tのごみがリサイクルされ、リサイクル率(リサイクルごみ量÷ごみ総量)は17.9%となりました。

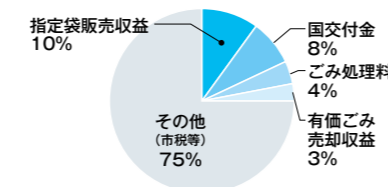
近年、市民1人が出すごみの量は増える一方で、リサイクル率は下がっています。3Rの推進には行政・市民・事業者が協力した取り組みが不可欠です。 **【資料④】**

■問合先 環境衛生課  
☎0978-72-9001

#### 資料① ごみの種別内訳



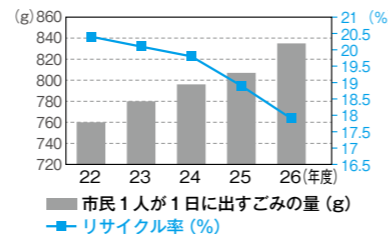
#### 資料② ごみ処理経費の財源内訳



#### 資料③ リサイクル品目

品目	選別方法
びん・かん・ペットボトル・古紙	市民の皆さんにより分別されています。古紙は古紙集積所に、その他は指定袋に入れて出します。
くず鉄・小型家電・乾電池・蛍光灯・焼却灰	焼却灰は専門の業者にセメント原料化を委託。その他はクリーンセンターに搬入された不燃ごみの中から手選別しています。

#### 資料④ ごみ排出量とリサイクル率の推移



### 資料1 (全国学力・学習状況調査の結果：平均正答率の一覧)

	小学校6年生					中学校3年生						
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	合計	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	合計
全国(公立)	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	316.4	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0	300.6
大分県	71.5	66.7	76.7	44.6	62.8	322.3	75.9	65.6	63.0	39.4	52.9	296.8
国東市	72.1	67.3	76.0	44.7	60.1	320.2	76.9	64.7	66.2	40.7	53.3	301.8

は、全国平均を上回った項目  
注) Aは基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題  
Bは基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

### 資料2 (大分県学力定着状況調査の結果：偏差値平均の一覧)

市町村	小学校5年生					中学校2年生								
	国語		算数		理科	国語		数学		理科		英語		
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用		
大分県	51.6	50.5	52.3	52.4	52.1	51.3	51.0	49.4	51.0	50.5	50.6	50.5	49.9	49.9
国東市	50.6	49.8	51.7	51.4	52.3	51.2	49.6	47.7	51.0	50.3	51.2	49.8	48.9	48.9

は、偏差値50以上の項目  
今年度も4月に全国学力・学習状況調査(対象：小学校6年生、中学校3年生)と大分県学力定着状況調査(対象：小学校5年生、中学校2年生)が行われました。全国学力・学習状況調査の結果は、資料1のとおりです。国東市の小学校6年生は算数Bと理科が全国平均を下回りましたが、合計平均正答率では全国平均を上回っています。中学校3年生は国語Bと数学Bが全国平均を下回りましたが、合計では全国平均をやや上回っています。また、大分県学力定着状況調査の結果は、資料2のとおりです。小学校5年生は国語の活用のみ偏差値50、すなわち全国平均に届いていませんが、他の項目は全国平均を上回っています。中学校2年生は国語と英語に課題が残る結果となりました。

果となりました。特に英語は、ここ数年全国平均を下回る結果となっています。今回の学力調査結果から、次に見えてくることとして、次の3点があります。

- 1 基礎的・基本的な知識・技能は比較的身に付いている。
- 2 知識・技能を活用する力に課題がある。
- 3 国東市の小・中学生の学力は、おおむね全国平均と同程度である。

①については、各学校において全員の子どもが「わかる」「できる」ことをめざすユニバーサル・デザインの授業が推進されていることはもちろん、保護者の協力のおかげで家庭学習が習慣化できていることや地域の方々に指導者になっていただき実施している水曜日と土曜日の「学びの教室」(小学生対象)、「学び塾」(中学生対象)における補充学習が充実していることが要因として考えられます。引き続き、保護者や地域の皆様のご協力をよろしくお

願います。②の課題解決については、以下のような授業改善が求められます。

授業中、先生が教えてくれることをただ聞くだけの授業では、子どもたちの思考力・判断力・表現力は育ちません。子どもたちが自身が課題を発見し、友だちと話し合うなど協働しながら課題を解決していく授業にいく必要があります。そのためにも、子どもたちが安心して表現できる学級づくりが土台になります。

国東市内の各小・中学校では授業改善に向けて、組織的な取り組みを行っています。ぜひ、学校公開日には、子どもたちが活躍する授業を楽しみにして、地域の小・中学校へお越しください。多数の方の参加をお待ちしています。

教師説明型授業から脱却し、子どもたちの活用する力(思考力・判断力・表現力)を伸ばすため、話す・書くなどの表現活動や友だちと協働する学習の充実を図ります。

【問合先】 学校教育課 ☎0978-73-0066

国東市の小・中学生の学力は全国平均レベル

教育

の里だより

